

実践事例 中学部

『等価の関係や位に気づき、自分で答え合わせをして次々と学習をすすめて、一円硬貨と十円硬貨を使って、買い物ゲームをしよう』

1. 生徒の実態と望む姿

- ・中学部3年生 女子
- ・仕方や活動の流れがわかると、自分から学習に取り組む。
- ・持ち金が一円硬貨20枚で13円そろえるとき、3円そろえた後、「足りません」と答える。
- ・百の位、十の位、一の位に分けられた位シートの十の位に十円硬貨を置くことができるが、一円硬貨10枚は一の位に縦に並べて並べる。

そこで本題材では以下の望む姿を設定した。

→一円硬貨10枚を「十円」として捉え、十円硬貨〇枚と一円硬貨10枚以上を使い、ちょうどの金額をそろえることができるようになってほしい

2. 教材の概要 教材：『買い物ゲーム』

- ・買い物メモを見ながら教師から頼まれた商品をレジで購入する仕組み。

3. 授業のポイント

ポイント1 具体的な操作を通して、一円硬貨10枚と十円硬貨1枚が「同じ」とわかるための学習活動や問題配列の工夫

【一円硬貨10枚を「十円」として扱うためには、どうすればよいか？】

- ・位シートを使い、一の位に一円硬貨を「一円、二円、三円…」と並べていき、十円になったら縦にまとめて、十の位に置き、「十円になったら隣」と繰り返し、操作する。… (図1)
- ・「一円玉10枚で十円」と操作をしながら、生徒が繰り返し声に出して確認できるようにする。… (図2)
- ・視覚的にわかりやすいように、パワーポイントのアニメーションで十円硬貨と一円硬貨10枚の等価関係を押さえる。… (図2) (図3) その後に問題に取り組むようにする。
- ・問題配列①一円硬貨で〇十円 ②一円硬貨で〇十△円 ③一円硬貨と十円硬貨で〇十円 ④一円硬貨と十円硬貨で〇十△円の順に、一円硬貨で十円のみをまとめ、金額をそろえる問題に取り組む。

(図1)

(図2)

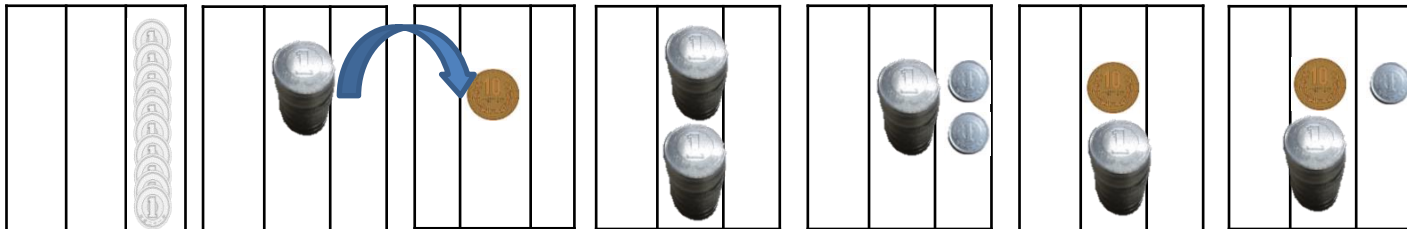
(図3)

(問題配列①)

(問題配列②)

(問題配列③)

(問題配列④)



授業構想チェックシート 意欲チェック 2. 題材計画について⑧

ポイント2

自分で答え合わせをして、進んで活動に取り組むための、教具と教師の働きかけの工夫

【自分から進んで学習に取り組むためには、どうすればよいか？】



答え合わせカード

- ・自分で答え合わせができるように、レジで支払った金額と照らし合わせて確認する答え合わせカードを準備した。
- ・答え合わせの後、正解の場合は教師が金銭を数え、金額と同じであることを認めたり、不正解の場合はもう一度教師と金額をそろえなおしたりできるようにした。

授業構想チェックシート 意欲チェック 6. 学習活動について ⑪⑫